

経済学的視点から見た危機におけるプライバシー情報の活用

—新型コロナパンデミックを契機として—

○高崎晴夫 (Haruo Takasaki)

Keywords : 新型コロナ、パンデミック、個人情報、プライバシー、プライバシーの経済学

1 目的

新型コロナ感染を契機に、個人情報の非常時における活用のあり方について活発な議論が開始されている。本研究は、新型コロナ感染という危機状況における個人情報の利活用とプライバシー保護のあり方について、「プライバシーの経済学」という視点からどのような示唆が得られるか議論する。わが国ではプライバシーやセキュリティ保護のあり方については、専ら法制度的枠組み整備の観点から議論されることが多い。欧米では、経済学的視点から、データ保護に関する政策決定が利害関係者のトレードオフにどのような影響を与えるかが議論されている。本発表では、日本では馴染みのない「プライバシーの経済学」を念頭に置きつつ、新型コロナのような危機状況におけるプライバシーの活用とプライバシー保護のバランスを図る上で経済分析の有用性と学際的な議論の必要性について論述する。

2 方法

本研究の調査・分析方法は、危機時におけるデータ活用政策に関する内外の政府機関の発表レポートや学術論文並びに接触確認アプリの受用性に関する内外の学術論文等を参照しつつ、考察を進める。

3 結果

調査・分析の結果、プライバシーの経済学は、関連当事者の厚生変化の検討に対しある種の寄与は可能と思われるが、政策決定者が確定的な判断を行うための最適解をこれのみで示すことは困難であり一定の制約があることが示される。

4 結論

以上により、複合的な観点から危機時におけるデータ活用とプライバシー保護のあり方を議論されるべきであり、個々具体的な危機の文脈に沿って、社会的に有用な公益目的を達成させるため必要となるデータ共有と活用に関し、多面的な視点から最適な解決策を探る努力がなされる必要があることを指摘する。

【主要参考文献】

Council of Europe (2020). "DIGITAL SOLUTIONS TO FIGHT COVID-19" 2020 Data Protection Report, October 2020. <https://rm.coe.int/prems-120820-gbr-2051-digital-solutions-to-fight-covid-19-text-a4-web-16809fe49c>

DPA (2020). Data Pop Alliance, "Using Data to Fight COVID-19 And Build Back Better", October 2020 Paper Series No. 2, https://datapopalliance.org/wp-content/uploads/2020/11/VFI-DPA_Fighting_COVID_with_Data_report_2020.pdf

EDPB (2020). European Data Protection Board. "Statement on the processing of personal data in the context of the COVID-19 outbreak." Adopted on 19 March 2020.

https://edpb.europa.eu/sites/edpb/files/files/file1/edpb_statement_2020_processingpersonaldataandcovid-19_en.pdf